

【施用実績】キャベツ・ハクサイ・カリフラワー

◇推奨品種と施用量、期待出来る効果

推奨品種: **マインマグC** **マインマグF** 施用量: 基肥時45~60kg/10a

苦土、ケイ酸により**生育の向上**が期待されます。

微量要素の働きにより、**耐病性・生育性が向上**します。



■キャベツ(圃場:茨城県)

慣行



対照区

慣行+(基肥)マインマグC



マインマグ施用区

マインマグ区
玉生りが早い

【評価】(ユーザー様のご評価)

・マインマグ区は、**玉の生りが早く
早期出荷が可能**になった。

■ハクサイ(圃場:茨城県)

慣行

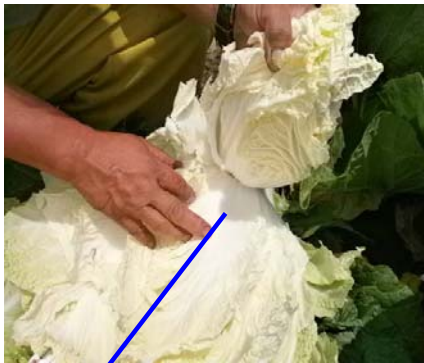


対照区

慣行+(基肥)マインマグF 45kg/10a



マインマグ施用区



マインマグ区

ゴマ症のないきれいなハクサイ

【評価】(ユーザー様のご評価を含む)

・マインマグ施用区は、**ゴマ症(黒い点)が
出なくなった。**
微量要素(ホウ素)と鉄の働きによると
考えられる。

■カリフラワー(圃場:埼玉県)

慣行+(基肥)マインマグC 45kg/10a



【評価】(ユーザー様ご評価)

マインマグ区は可食部の傷み(可食部内部の黒ずみ)が少なく、**長期間
収穫が可能**であった。